

# 子どもの学びをつなぐ

～就学前教育と小学校教育の連携・接続～



幼児期の学びを  
小学校以降の学習・生活に活かす

幼児期の遊び（学び）の充実



R4.5.23 高松市

# 1. 高松市の就学前教育と小学校教育の連携・接続に関する現状

## 就学前施設・小学校数と児童・園児数（令和3年度参照）

保育施設 (R3.4.1)			
		施設数	児童数
市立	保育所	26	2418
	認可施設	52	3744
私立	認可外施設	59	691
計		137	6853

認定こども園 (R3.4.1)		
	施設数	園児数
市立	10	1441
私立	25	3664
計	35	5105

幼稚園 (R3.5.1)		
	施設数	園児数
市立	19	643
国立	1	60
私立	23	3542
計	43	4245

小学校 (R3.5.1)		
	施設数	児童数
市立	49	22369
国立	1	614
計	50	22983

- ・ 幼稚園⇒認定こども園に移行
- ・ こども園、保育施設等の園児数が増加傾向
- ・ さまざまな施設類型の保育施設

- ・ 校区内の就学前施設  
1施設～9施設



◆小学校には、複数、多類型の就学前施設から就学

# 1. 高松市の就学前教育と小学校教育の連携・接続に関する現状

## (1) 高松っ子いきいきプラン

- ・ 高松市の子どもたちの健やかな育ちを保障し、0歳児から小学校1年生までの教育・保育がさらに充実することをめざし、その取り組みの方向性を示したもの

- ・ 高松市の就学前と小学校の教育・保育に携わる教職員に向けた研修等により、活用していくもの

\* 平成23年3月 策定(高松市・高松市教育委員会)



\* 令和2年3月 「高松っ子いきいきプラン改訂版」策定

※ 幼保一体化施設が幼保連携型認定こども園となり、3要領や指針が改訂・施行されたことを踏まえ改訂



# 1. 高松市の就学前教育と小学校教育の連携・接続に関する現状

## (2) 高松っ子いきいきプラン改訂版活用推進協議会 (R2年度～)

高松市内全ての就学前施設と小学校の教職員が「高松っ子いきいきプラン改訂版」の趣旨、内容を理解し、各施設の教育・保育実践に活かせるよう、本プランを推進していく協議会

### 【協議会構成メンバー】

公立保育所・こども園・幼稚園・小学校の教職員  
大学准教授・教育委員会事務局

### 【令和3年度】

「就学前教育と小学校教育の連携・接続」に関する具体的な方法や、活用できるシート等について協議し、「子どもの学びをつなぐ」資料としてまとめた。

高松っ子いきいきプラン改訂版の活用資料

### 子どもの学びをつなぐ

幼児期の学びを  
小学校以降の学習・生活に活かす  
幼児期の遊び(学び)の充実

子どもの学びを伝えあおう  
子どもの学び★トークシート  
生活・遊びのドキュメント

相互性のある交流をしよう  
交換シート&交換 Memo  
交流・連携年間計画

校区で推進課カリキュラムをつくらう  
連携校区の接続カリキュラム  
幼小接続カリキュラムP D C Aスケジュール  
「幼小連携・接続のスムーズステップ」の指標

URL: [www.edu-tens.net/kyouikuken/youjikyoku/index.html](http://www.edu-tens.net/kyouikuken/youjikyoku/index.html)

「高松っ子いきいきプラン改訂版」活用推進協議会 令和4年3月



# 1. 高松市の就学前教育と小学校教育の連携・接続に関する現状



## (3) 保育所・こども園・幼稚園・小学校合同研修会

- ・ 連携校区の小学校や就学前施設での参観
- ・ 子どもの実態や施設の取組についての情報交換
- ・ 連携校区の「接続カリキュラム」「交流計画」の作成
  - \* 平成22年度～公立施設(年間3回)
  - \* 平成27年度～希望する私立施設も参加

教育委員会主催の研修会・事業への参加施設が、幼稚園から保育所、こども園、小学校へ、公立施設から私立施設へと広がっている。

## (4) 幼小連携教育に関する研究指定事業

	指定施設	協力施設
平成24年度～	公立幼	公立小
令和元・2年度	公立幼	公立保・公立小
令和3年度	公立幼・公立保	公立小
令和4年度	公立幼・公立保・公立小	

5歳児担任と1年担任だけの連携。  
連携の成果や接続カリキュラムが次年度に引き継がれにくい。

# 1. 高松市の就学前教育と小学校教育の連携・接続に関する現状

## (5) 各連携校区の連携・接続の実態調査(R3.8月)

### いきいきプラン Reflectionシートより

公立・私立 保育所・こども園・幼稚園

小学校1学年担任

わたし、こんなことができるんよ!



小学校に行くん、楽しみやな

#### 【交流計画について】

- アプローチ・スタートカリキュラムを活用した計画になっていますか?
- “去年と同じでいいや”と、検討をせずに計画していませんか?
- 互いの先生が経験してほしいことや大切にしたいこと等の意見を出し合いましたか?
- 活動の内容に無理はないですか?活動先行になっていませんか?
- 交流計画の内容を他のクラスの職員に周知していますか?
- 交流後の互いの育ちについて話し合う場をもちましたか?→事例①

#### 【就学前施設の先生の振り返り】

- 子どもが自己表現する姿を十分に認め、自信や意欲につながるよう関わっていますか?
- 「そんなことしてたら小学生になれるよ」などと子どもにプレッシャーをかけていませんか?
- 小学校への緊張感を和らげる工夫をしていますか?→事例②
- 小学校の先生が就学前施設に来て子どもの様子を見る機会を計画していますか?
- 小学校の先生に就学前施設で何を学んでいるかを引き継ぐ機会を設けていますか?

先生あのね、自分でできたよ!またやってみたいな。+



アサガオの花が咲いて嬉しかったよ。花について見つけたことを教えてあげたいな。+

#### 【交流計画について】+

- アプローチ・スタートカリキュラムを活用した計画になっていますか?+
- “去年と同じでいいや”と、検討をせずに計画していませんか?+
- 互いの先生が経験してほしいことや大切にしたいこと等の意見を出し合いましたか?+
- 活動の内容に無理はないですか?活動先行になっていませんか?+
- 交流計画の内容を他のクラスの職員に周知していますか?+
- 交流後の互いの育ちについて話し合う場をもちましたか?+

+

#### 【小学校の先生の振り返り】+

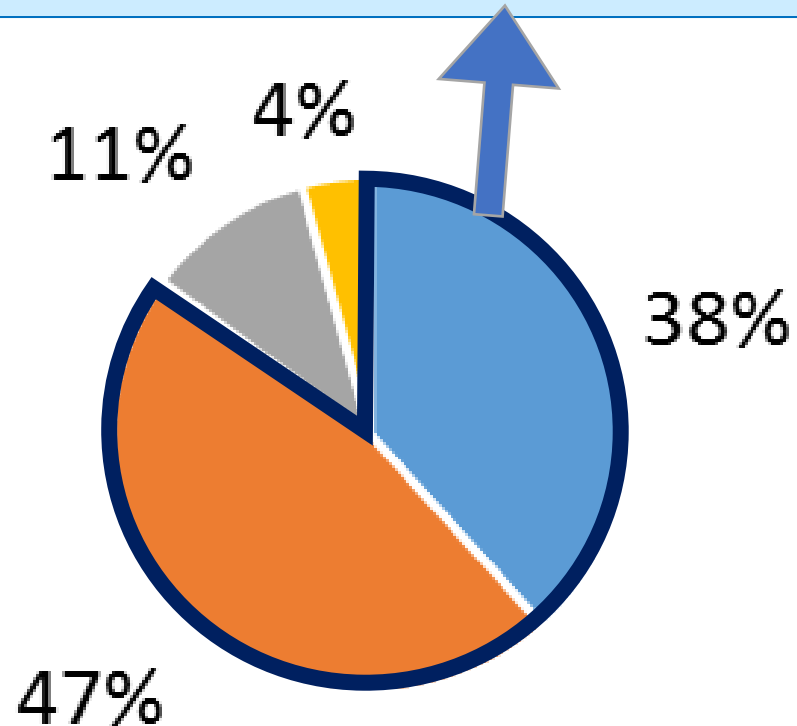
- 少しの時間でも、普段の保育を参観したり、授業を保育者に見てもらったりしたことがありますか?→事例①+
- 入学前の聞き取りでは、子どものよさと配慮事項が引き継がれ、クラス編成や学級経営に活かされていますか?+
- 要録や聞き取りを通して理解した一人一人の子どもの個性を、環境構成や活動内容、支援に活かしていますか?+
- 就学前教育で親しんできた手遊びや歌を知っていますか?→事例②+
- 一人一人の子どもが就学前施設で夢中になった遊びを知っていますか?+

# 1. 高松市の就学前教育と小学校教育の連携・接続に関する現状

## (5) 各連携校区の連携・接続の実態調査 (R3.8月)

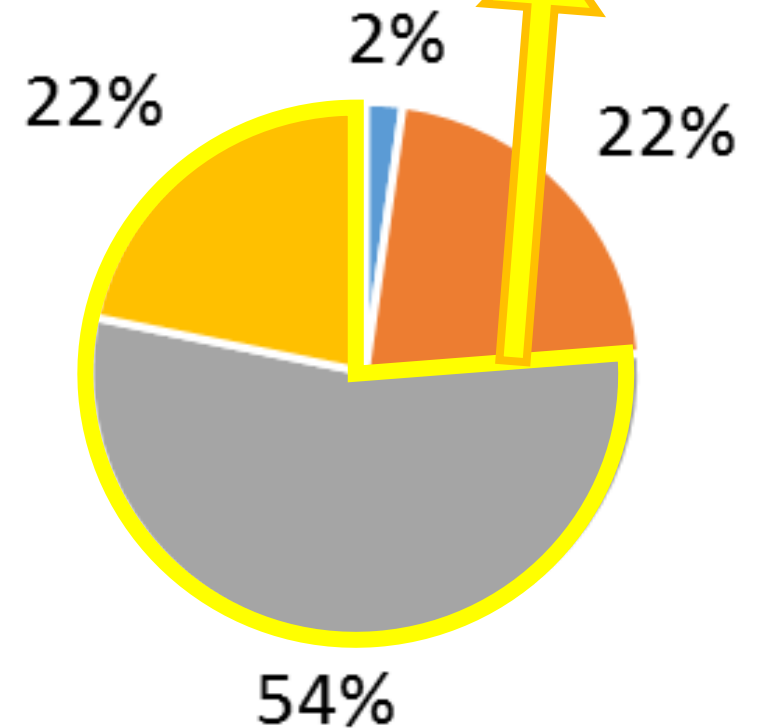
### 小学校のReflectionより

保育・授業参観の実施  
85%達成



就学前の子どもの学びを知る  
24%達成 **課題76%**

- 4: 十分達成
- 3: ほぼ達成
- 2: 少し課題あり
- 1: かなり課題あり



## 2. これからの高松市の保こ幼小の連携・接続

就学前に、どんなことを  
経験していたのか、  
いつでも**気軽に話せる**  
**教職員の関係づくり**から。



就学前での学びが  
小学校以降の学習や生活に  
活かされるために、  
**子どもの学びを伝え合おう。**

**共に育てたい子どもの姿を**  
共有しよう。

**接続カリキュラムが**  
引き継がれるようにしよう。

### 「子どもの学びをつなぐ」「持続可能な」保こ幼小連携・接続

(1) 気軽に対話できる教職員関係の構築

(2) 子どもの学びの共有と分析

(3) 連携校区の実態に即した接続期カリキュラムの充実・改善



# 2. これからの高松市の保こ幼小の連携・接続



## 「子どもの学びをつなぐ」「持続可能な」保こ幼小連携・接続

### (1) 気軽に対話できる教職員関係の構築

#### 【カリキュラム開発会議設置】

- ①「高松っ子いきいきプラン活用推進協議会」の組織を活かす。
- ②公立施設で構成されていた協議会メンバーに、私立就学前施設を加えたA校区と、指定研究を行っているB校区・C校区を開発校区として位置付ける。
- ③各開発校区の連携・接続状況に沿って、連携・接続のステップアップが図れるよう、具体的な取組を協議し、実践できるようサポートする。

幼小連携・接続のスムーズステップの指標

高松市総合教育センター R4.2

0	★	★★	★★★	1	★	★★	★★★	2	★	★★	★★★	3	★	4	★★
連携の予定・計画がまだ無い	1つ実施	2つ実施	3つ実施	すべて実施	1つ実施	2つ実施	3つ実施	すべて実施	1つ実施	2つ実施	3つ実施	すべて実施	1つ実施	すべて実施	すべて実施
	①②③④			⑤⑥⑦⑧			⑨⑩⑪⑫			⑬⑭		⑮⑯			
	のうち			のうち			のうち			のうち					

連携・接続の具体内容

ステップ0 ↓ 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各学校・施設の担当者が、市教育委員会主催「保こ幼・小合同研修会」に参加し、幼小連携教育の意義・方法や他施設の取組等を知る。</li> <li>②各学校・施設に担当者置き、連携施設と定期的に意見交換会を開催する。</li> <li>③意見交換の中から、交流授業、行事などを企画・実施し、子ども同士の交流、教職員の交流を推進する。</li> <li>④全教職員の理解と協力が得られる体制をつくる。</li> </ul>
ステップ1 ↓ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤年数回程度の授業、行事、研究会などの交流を年間指導計画などに位置付けて実施する。</li> <li>⑥交流の事前だけでなく事後の反省・検証を行い次の交流につなげていく。</li> <li>⑦市教育委員会提供の様式等を参考に、接続カリキュラムを編成する。</li> <li>⑧編成した接続カリキュラムを実施する。</li> </ul>
ステップ2 ↓ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨年間計画に位置付けた授業、行事、研究会などの交流を恒常的に実施する。</li> <li>⑩子どもの姿から学びを読み取り、適切な教育環境や教職員の関わり等を省察する協議を実施する。</li> <li>⑪就学前施設と小学校の教職員が子どもの実態を確認し合い、育ちがつながるように接続カリキュラムを編成する。</li> <li>⑫連携の実践を踏まえ、接続を見通した教育課程を編成・実施する。</li> </ul>
ステップ3 ↓ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑬子どもの実態に即した接続カリキュラムの改善を行い、次年度につなげる。</li> <li>・PDCAサイクルの確立 ・学期末ごとや年度末に反省・検証</li> <li>・就学前施設と小学校の教職員が共通理解しながら作成する。</li> <li>⑭学校・施設全体のカリキュラムとなるように、全教職員での共通理解及び改善を行う。</li> <li>⑮接続を見通して編成・実施された教育課程について、実践結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。</li> <li>⑯近隣地域の園、所、学校と連携し、地域全体で取り組んでいる。</li> </ul>

# 2. これからの高松市の保こ幼小の連携・接続



## 「子どもの学びをつなぐ」「持続可能な」保こ幼小連携・接続

### (2) 子どもの学びの共有と分析

#### 【「子どもの学びトークシート」の活用】

- ① 教職員間で、子どもの姿を伝え合う。
- ② 幼児や小学生の学びについて、「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」や「3つの資質・能力」から見取り、教職員間で共有する。
- ③ 子どもの学びの過程や、学びを保障し、つないでいくための環境・支援について分析する。

子どもの学びトークシート

経験していること

高松っ子いきいきプランの視点 (3P~7P)

基本的な生活習慣  
生活リズム  
食育  
好奇心  
意欲 主体性  
探究心 思考力  
感性 表現力

子どもの姿、言葉、やりとりなどを、具体的に書き込む。

子どもの姿、言葉などから、経験していることを捉え、箇条書きし、番号をふる。(付箋を貼ってもよい)

遊びや生活の様子が分かる写真を掲載し、子どもの言動を書き込む。

どの子どもの姿から経験していることを捉えたかがわかるように、子どもの姿にラインを引き、経験していることと同じ番号を記入する。

経験していることが、高松っ子のどの視点と関連しているかを捉える。(線でつないだり、○を付けたりする)

体力 身体調整力  
挑戦意欲 粘り強さ  
危険回避能力

高松っ子いきいきプラン(8P~10P)

知識及び技能の基礎

- 基本的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得。
- 身体感覚の育成。
- 規則性、法則性、関連性の発見。
- 様々な気持ち、発見の喜び。
- 日常生活に必要な言葉の理解。
- 多様な動きや芸術表現のための基礎的な技能の獲得 など。

遊びや生活の中で、豊かな体験を通して、何を感じたり、何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになったりするかの。

思考力・判断力・表現力等の基礎

- 試行錯誤、工夫。
- 予想、予測、比較、分類、確認。
- 他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ。
- 言葉による表現、伝え合い。
- 振り廻り、次への見通し。
- 自分なりの表現・表現する喜びなど。

遊びや生活の中で、気付いたことや得意なところになったことなどを使いながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか。

学びに向かう力・人間性等

子どもの成長を共有し、「遊び込み」から「学び込み」へ

円滑な連携 (プラン 30P)・連携能力カリキュラム (44~46P)・視点「た」「つ」具体例 (57~58P)

幼児期の学びを小学校以降の学習・生活に活かす  
幼児期の遊び(学び)の充実

## 2. これからの高松市の保こ幼小の連携・接続



# 「子どもの学びをつなぐ」「持続可能な」保こ幼小連携・接続

## (2) 子どもの学びの共有と分析

### 【「交流・連携年間計画」「交流シート」「交流メモ」の活用】

①連携校区の実情から、「共に育みたい子どもの姿」を伝え合い、互恵性のある交流について計画する。

②教職員間で協働しながら実践する。

③小学生と幼児の学びを「3つの資質・能力」から捉え、その学びを生み出す教育環境・支援について分析する。

④オンラインを活用した交流・連携について開発する。

共に育みたい子どもの姿	
交流活動「	年月日(場所)
ねら	い
幼	小

③(幼児と小学生・保育者と小学校教員) ★(幼児・保育者) ◆(小学生・小学校教員)	
【時間】	活動内容
○	◆
◇	★
★	

成果	幼
改善	小

交流での子どもの学びMemo ③(幼児と小学生) ★(幼児) ◆(小学生)	
知識及び技能(基礎)	思考力・判断力・表現力等(基礎)
学びに向かう力・人間性等	
<b>知識及び技能(基礎)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>基本的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得</li><li>身体感覚の育成</li><li>規則性、法則性、関連性の発見</li><li>様々な気付き、発見の喜び</li><li>日常生活に必要な言葉の理解</li><li>多様な動きや芸術表現のための基礎的な技能の獲得 など</li></ul>	<b>思考力・判断力・表現力等(基礎)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>試行錯誤、工夫</li><li>予想、予測、比較、分類、確認</li><li>他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ</li><li>言葉による表現、伝え合い</li><li>振り返り、次への見直し</li><li>自分なりの表現・表現する喜びなど</li></ul>
<b>学びに向かう力・人間性等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>思いやり ・ 安定した情緒 ・ 自信 ・ 相手の気持ちの受容 ・ 好奇心、探究心</li><li>葛藤、自分への向き合い、折り合い ・ 話し合い、目的の共有、協力</li><li>色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚 ・ 自然現象や社会現象への関心 など</li></ul>	

## 2. これからの高松市の保こ幼小の連携・接続



### 「子どもの学びをつなぐ」「持続可能な」保こ幼小連携・接続

#### (3) 連携校区の実態に即した接続期カリキュラムの充実・改善

##### ① 就学前施設と小学校の教職員間が協働し編成・改善

※「接続期カリキュラム様式」を参考に各連携校区の接続期カリキュラムを編成

##### 【保こ幼小合同研修会】

- ・5～7月 連携校区の就学前施設の教職員が1年生の授業を参観後、スタートカリキュラムの内容について協議
- ・8月 小学校接続期(4～7月)の実践と就学前施設接続期(10月～3月)の計画をもとに協議
- ・2～3月 連携校区の小学校の教職員が5歳児の保育を参観後、アプローチカリキュラムの内容について協議

The image shows a screenshot of a curriculum planning table titled '令和 年度 ○○校区 アプローチ・スタートカリキュラム'. The table is organized into columns for months from October to March. It includes sections for '子どもが学ぶべきこと' (What children should learn) and '学習の進め方' (How to proceed with learning). The table is divided into three main sections: '【学ばせたい子どもの姿】' (Children's learning posture), '【自覚的な学び（教科等の学習を通じた学び）】' (Self-aware learning), and '【小学校】' (Elementary school). The table contains various colored boxes and text indicating learning objectives and activities.



## 2. これからの高松市の保こ幼小の連携・接続

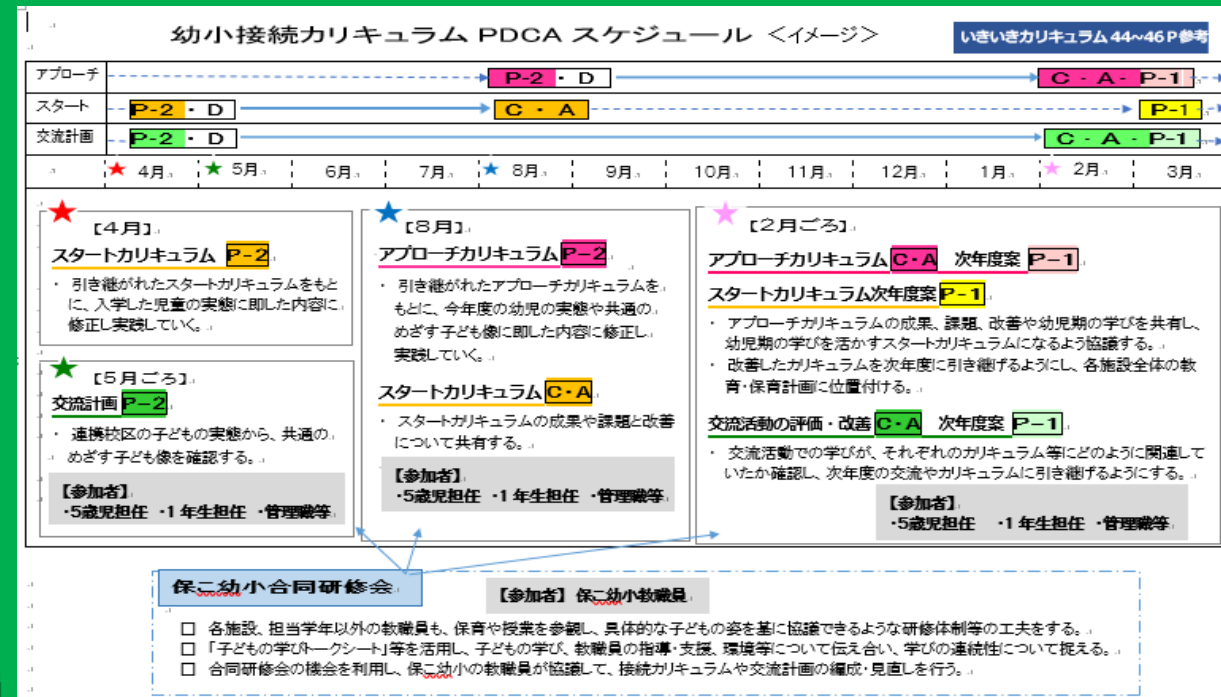
### 「子どもの学びをつなぐ」「持続可能な」保こ幼小連携・接続

#### (3) 連携校区の実態に即した接続期カリキュラムの充実・改善

##### ② 持続可能な連携校区のカリキュラムとしての位置付け

・「幼小接続カリキュラムPDCAスケジュール(イメージ)」を参考に、接続期カリキュラムを効果的に、どのように改善・評価していくかを開発する。

・連携校区の子どもの実態に即した接続カリキュラムに改善されていく、持続可能な連携校区のカリキュラムとしての位置付けられるような取組を開発する。





# 子どもの学びをつなぐ

～就学前教育と小学校教育の連携・接続～

